

平成31年度事業計画

我が国の経済は拡張局面が続いている中、中小企業を中心に労働力不足感が高まっており、就業を希望する高齢者に就業機会を提供することを使命としているシルバーセンター事業にとっては追い風となり、勤労意欲のある高齢者がイキイキ働く社会が望まれています。

会員数は、継続雇用制度の導入の影響や、会員が希望する仕事がないというミスマッチング、会員の健康上・体力的な理由などにより退会者が入会者を上回っている現状から減少傾向にあります。

また、平成28年度に策定された「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」に沿った適正契約・就業が強く求められています。

このことから、今後もきめ細やかな加入促進、入会者のニーズを捉えた就業開拓、退会抑止対策など総合的に対策を講じていきます。

特に介護予防事業の需要が増すなか女性会員の入会促進を重点的に取り組んでいきます。

事業所訪問等を通しての就業開拓や就業開拓員などを活用した新たな就業機会の確保に努めます。

請負・委任、派遣など契約の在り方を再確認し必要な是正に努め、安全適正就業の徹底を図ります。

役員・各委員会が主導し、会員が「自主・自立・協働・共助」の基本理念で事業運営に参加し、シルバー事業の進展に取り組めます。

関係各位及び会員のご理解と協力をお願い申し上げます。

I 基本方針

- 1 普及啓発事業の推進
- 2 会員の加入促進及び就業機会の確保拡大
- 3 適正就業及び安全就業の推進
- 4 知識・技能の向上及び後継者育成のため講習会の開催
- 5 組織体制の整備及び健全な財政運営と効率化

Ⅱ 事業実施計画

1 普及啓発事業の推進

- (1) 料金表等チラシの全戸配布により、業務内容のPR活動を強化する。
- (2) 事業所及び一般家庭を訪問、業務内容のPR活動を強化する。
- (3) 各種イベント等へ参加、市民等にシルバーの業務内容の周知を図る。
- (4) 福祉施設へのタオルの寄贈等、各種のボランティア活動を実施する。

2 会員の加入促進及び就業機会の確保拡大

(1) 会員の加入促進と意識の高揚

- ① 理事を中心とした入会説明会の開催と説明内容の充実を図る。
- ② 市広報誌及び新聞並びにFM放送の利用による会員拡大に努める。
- ③ 会員へ「一人一声加入運動」の周知により、加入促進に努める。
- ④ 介護及び家事援助講習会を開催するなど女性入会促進に努める。
- ⑤ 「自主・自立・共働・共助」の基本理念に則り、会員の意識の高揚に努め、各種催し物等への参加と会員相互の交流を図る。

(2) 就業機会の確保拡大

- ① 役員及び地域班連絡員等による受注開拓を図る。
- ② 就業機会開拓推進員を活用し、受注の増加を図る。
- ③ 各種団体との連携や情報交換により、職種の拡大を図る。
- ④ ワークシェアリング及びローテーション就業の推進を図る。
- ⑤ 多様な就業機会確保のため、派遣事業や有料職業紹介事業の推進を図る。
- ⑥ 会員へ「一人一声一就業開拓運動」の周知により、新規就業開拓に努める。
- ⑦ 空き家の市外・県外所有者に管理業務のチラシを送付、受注増加に努める。
- ⑧ 「生き生きふれあい館」に開設した「地域の茶の間」を、生活支援や家事援助サービスの活動拠点として運営する。

3 適正就業及び安全就業の推進

- (1) 不適切な就労防止のため、会員及び発注者へ法令遵守の徹底を図る。
- (2) 就業先巡回指導の実施、及び指導の強化を図る。
- (3) 安全意識の高揚・啓発、及び周知の徹底を図る。
- (4) 救命講習会及び各種講習会の開催により、安全就業の推進を図る。
- (5) 交通安全活動の推進、及び交通事故防止の徹底を図る。
- (6) 健康管理意識の啓発により、健康維持に努める。

4 知識・技能の向上及び後継者育成のため講習会の開催

- | | |
|-----------------|--------------------|
| (1) 刈払機取扱講習会 | (7) 障子・襖張り講習会 |
| (2) ハンマーモア取扱講習会 | (8) 介護・家事援助サービス講習会 |
| (3) 剪定講習会 | (9) 料理講習会 |
| (4) 草取り講習会 | (10) 交通安全・健康づくり講習会 |
| (5) 冬囲い講習会 | (11) 小物作り講習会 |
| (6) 接遇・マナー講習会 | |

5 組織体制の整備及び健全な財政運営と効率化

- (1) 総会及び理事会並びに各委員会の活性化を図る。
- (2) 会員組織（職群班等）の自主運営の推進を図る。
- (3) 事務局職員の育成及び人材の確保を図る。
- (4) 国及び市補助金の確保に努める。
- (5) 経費の縮減を図るとともに、受託事業の拡大により自主財源の確保に努める。